

別記第3号様式

意見公募(パブリックコメント)の結果

○件 名 勝浦市道の駅基本計画(案)について
 ○意見等の募集期間 平成30年5月1日 ～ 平成30年5月31日
 ○意見等の受付件数 1件

1. 寄せられた意見等を内容により整理し、意見等の概要として掲載します。

(1) 勝浦市道の駅基本計画		についての意見
番号	提出のあった意見等の概要	市の考え方
1	竣工が5年後となっている。そこから5年が事業の成否を決めると考える。つまり、今から10年先の市の状況をどうとらえているか。人口減少・高齢化は一段と進むと考えている。 2045年の勝浦の推定人口は、8,858人と推計されている。	現在、そして今後も、本市が向き合う最大の課題は人口減少・少子高齢化であります。地域の活力の大きな低下につながるこの課題に対し、あらゆる施策を通じて取り組んでまいります。 とりわけ、この重要課題に対する大きな柱・道の駅の整備により、地域内外の人々のふれあいや繋がりとといった交流環境の創生とともに、モノ・カネ・情報の流動の促進をもって産業の振興を図り、市勢の維持・発展に努めます。
	道の駅の基本的な発想は、トイレ休憩から始まっていると考える。そこから発展し観光を中心とした情報発信・地域連携の機能が加わってきていると考える。この計画では、総野地区版「小さな拠点」も構想して、生活便利機能も含めるとなっている。その考え方からすると、同様に生活不便地域の上野地区をどう考えるか。	上野地区については、予約制乗合タクシーなどを導入し、生活利便性向上を図っているところでありますが、更なる市民ニーズの把握に努め、市民満足度向上に資する施策を検討します。 また、交流インフラの整備を図っていくことで、生活利便施設の需要確保を目指し、地域振興拠点施設整備に向けた検討を進めていきます。
	道の駅に大きく期待されるものは、基本方針にもあるように、「ゲートウェイ型」機能と「着地型観光モデル」の機能にあると考える。つまり、地域外からのゲストの誘致である。「小さな拠点」構想との整合性をどう図るか。当然大型バスの導入は想定していると考えているが。	基本計画第5章施設計画にて、利用者目線に基づいた機能、利用を計画しております。このイメージとして道の駅基本計画45ページに掲載しておりますが、曜日や時間帯により対象利用者を絞ったサービス提供などの工夫を検討していきたいと考えております。
	近隣交通ラインに大多喜道の駅があるが、その関連性についてどう考えているか。	全国「道の駅」連絡会においても、道の駅スタンプラリーを実施するなど協働して楽しく心身負担の少ないドライブ・移動環境の向上を展開しています。 「たけゆらの里おおたき」をはじめとする近隣道の駅との関連についても、協力することで活用できる資源を増やし、情報発信力、集客力を高められるよう連携を目指します。
	営業の成否は、民間事業者のノウハウにある。優秀な事業者を獲得するために、どんな考え方を持っているか。企業競争は厳しいものである。	道の駅基本計画の策定にあたり、民間ノウハウの活用についても検討いたしました。その上で民間事業者が参画しやすい事業手法を選択し、多くの提案募集を図ることで、良好な競争環境を整備し、優秀な提案の選定に努めていきます。

2. 寄せられた意見を考慮しましたが、原案の修正は行いませんでした。

※ 勝浦市情報公開条例第6条に規定する不開示情報、情報、政策等の策定に係わりのないもの及び賛否の結論のみを示したものについては、掲載を省略することがあります。

○問合せ先 勝浦市役所

企画課 地方創生戦略班